

# 信州昆虫資料館報

No.16

2019. 8



# 小川原先生 ありがとうございます



2018.7.15 ハチの講演会（青木村文化会館）

## 【略歴】

- 昭和3.2.18 東筑摩郡坂井村（現筑北村）出生
- 昭和28.3.13 横浜医科大学卒業
- 昭和34.7.1 王滝村国民健康保険直営診療所勤務
- 昭和45.4 青木村診療所勤務
- 平成12.4.15 医療法人緑会青木診療所理事長  
名誉村民章を贈呈される
- 平成15.11.1 信州昆虫資料館仮オープン
- 平成16.4.1 信州昆虫資料館オープン
- 平成18年～毎年「ハチに刺されないために」の講演会を開催
- 平成28.4.1 館を村に寄贈、青木村信州昆虫資料館としてオープン
- 平成30.7.15 村の文化会館で最後のハチの講演会を開催
- 平成31.2.5 青木診療所にて永眠

《 待望の書 発売中です! 》

青木村で40年以上にわたり医療に従事し、ハチの事故対策を強めてこられた 故小川原隆雄先生が、本年8月に遺された期間まで出版準備を続けられた遺作です。

ハチの事故を少しでも減らしたいという先生の願いが込められています。是非ご一読ください。

発行 山と溪谷社  
/ 判型 四六判 200ページ  
定価 1600円＋税

小川原 隆雄

別冊でもっと危険な生き物のハチ。何れが20倍危険な生き物か？クマの20倍危険な生き物でもあるなぜハチは人を襲うのか？ハチに刺されないためにどうすればいいか？そして、ハチに刺されたらどうするか？絶大4482件の事例からの報告書。

全国書店、通販（および信州昆虫資料館）にてお求めいただけます。

## 【著書】

「白夜の旅人」「糖尿病管見」「内科医の生物体験」「信州一農村を診断する」「蜂刺症」「地域医療序説」「青木村医療史」「医事断章」（桜華書林・長野）/「村医110話」（銀河書房・長野）/「虫とたわむれ自然と暮らす」「身近な危険 ハチ刺し症」「信州浅間山麓と東信の蝶」（含共著クリエイティブセンター・長野）/「人を襲うハチ」（山と溪谷社・東京）

## 小川原辰雄先生ご逝去・村民葬で見送られる

当館は、平成15年（2003）11月1日、代表小川原先生（青木診療所長）、顧問に上田市在住の安藤裕先生（故人・元筑波大学名誉教授・昆虫生態学、発生学国際誌編集委員・日本節足動物学会、信州昆虫学会会長歴任・日本動物学会賞他論文多数）をお迎えし開館しました。

平成28年（2016）4月1日に村営になるまで足掛け14年の歳月が流れ、小川原先生は平成31年（2019）2月5日、長年暮らされた青木診療所の自室で静かに永眠されました。享年90歳でした。

青木村村長が村民だった先生のご葬儀は平成31年2月17日、上田市JA川西セレモニー虹のホールで青木村村長葬として盛大に開催され、多くの皆さまに見送られました。

先生は昭和3年に坂井村で生まれ、冠着駅から電車通学で松本中学（現深志高校）に通っていました。1年生のある雪の日に、松本の書店ではじめて手にした「ファール昆虫記」を購入。「凍える手で夢中で読んだ昆虫の驚異の世界は、その発生・変態・闘争・生殖と対比しながらむしろ人生に対する漠然とした期待や恐れを抱くようになった」そうです。2年生の時に第2次世界大戦がはじまり、軍事教練が強化されていく時代、軍事訓練でキャンプを張った聖高原で、こっそり蝶の採集をしていたとのこと。その少年がドクターになり王滝村村医を経て青木村の村医になったのが昭和36年（1961）でした。診療所にはハチに刺されて来る患者が多く、中には重篤な症状の方もいました。まだ対処法の確立されていない時代、先生は研究を重ね、平成5年「村誌自然編 第6章 青木の動物 2 刺すハチとその被害」に資料提供をしています。また、ハチの研究は長く継続され、この地の歴史と医療史を合わせた「青木村医療史」他多くの著書を残され、平成14年（2002）には「身近な危険・ハチ刺し症」（クリエイティブセンター）を出版。翌年信州昆虫資料館を立ちあげ

ました。

「ハチの先生」と親しまれて来た所以は、何より最優先に緊急処置に入る姿と、それにより救われた患者さんの多さが物語っています。が、75歳になるまでチョウへの憧憬を誰にも言えずに医療に従事していた先生の内には、チョウを追いかけていた少年の夢が膨らんでいたのでしょうか。村の里山にあった元温泉施設をいつのまにか「昆虫の城」にしてしまいました。

2003年夏に、書籍整理のバイトから昆虫資料館立ち上げのお手伝いを依頼されたまま、現在を迎えている私にとっても日々青天の霹靂。長い時間が流れ、全国から多くの皆さまが来館され交流されました。立場思想を超えて自然の力に委ねる時代です。どうぞ皆さまの大事な昆虫資料館になりますよう。

昨年5月頃より先生のハチの本を出版するための打ち合わせが始まりました。幸い「山と溪谷社」が出版元になって下さるとのことで、編集の方との丸1年の道中を経て、この5月18日に刊行、発売されました。先生の最期の本となりましたが、多くの協力者を得て「人を襲うハチ」刊行に至りましたこと、関係各位に心より感謝申し上げます。残念ながらご本人は手にすることが叶いませんでしたが、入稿できたことをとても喜ばれました。

本年は4月20日オープン時から特設会場で故小川原辰雄展を開催中です。先生の直筆原稿や絵、患者さんを刺したハチの標本、これまでのスナップ写真や先生の書籍、文献などを展示しており、当館の大事な協力者の皆さまによる追悼作品（特に自薦されたチョウや虫などの写真）が先生のコーナーを囲んでいます。昨年のハチの講演会と丸川尚子・コルナ知子さんのコンサートの様子もビデオで観て頂けますので是非お越しください。

館長 野原未知

## 2018年を振り返って

2月1日～3月25日 .....

### ゼフィルス展（於・郷土美術館）

ゼフィルス22種の標本箱、ゼフィルスの木版画、写真他、エントランスホールに賑やかに並びました。ゼフィルスとは、ギリシャ神話で西の風の意。フレンツェの画家ポツェイチェリの「ヴィーナスの誕生」の絵の上にフィルス舞うレイアウトは美しく、新部公亮さんのギャラリートークも力が入り、舞う宝石への理解が深まりました。

4月20日 .....

### 春のオープン ゼフィルス展Ⅱ

郷土美術館で開催した作品展を膨らませ当館2F特設会場で開催。多くのご観覧を戴きました。

5月10日 .....

### 周辺の植物しらべと森の声を聴くⅠ

周辺の植物の定点観測を継続されている「上田自然に親しむ会」と共に賑やかに観察会が出来ました。(20名)

5月26日 .....

### 恒例村松の風穴ハイキング・巨石群探索会

爽やかな5月の森の中をゆっくり観察しながら歩きました。大正7年村の沓掛伴吉ら6人がこの風穴を蚕種貯蔵に利用しようと村松区から借用。「青木風穴株式会社」を設立。天然の冷蔵庫として蚕種を保存し、出荷時期をコントロールすることで一大産業として盛んでしたが、昭和14年に閉鎖しました。いまでも石垣の隙間からは冷風が流れております。広場でお弁当を囲んだ後は、沓掛温泉裏の小さな風穴を見学し、その裏手の巨石探険をして解散しました。(20名)

6月中 .....

### 春蚕の飼育

蚕種（卵）から小さな真っ黒な幼虫（毛ご）が産

まれ、桑葉を食べながら成長し4回脱皮の後、繭になります。その様子を観察します。

6月3日 .....

### 手織り機と切り絵の蝶のワークショップ★

初めての卓上手織り機、小野沢真由美さんご指導の元、毛糸を織る体験をしました。切り絵は長岡泰平さん。(15名)

7月8日 .....

### 手織り機と草木編みワークショップ★

手織りは小野沢真由美さん、草木編みは宍戸望さんにご指導いただきました。(15名)

7月12日 .....

### 周辺の植物しらべと森の声を聴くⅡ

5月に引き続き7月の森に入りました。若葉が伸びて小さな花をつけています。(17名)

7月15日 .....

### 特別企画「小川原先生のハチの講演会とコンサート」 青木村文化会館

200名の参加者を戴き、小川原先生も渾身の講演をされました。丸川尚子さん（歌）コルナ知子さん（ピアノ）の素晴らしい演奏を戴きました。

8月11日 .....

### 夜間昆虫観察会

大人も子供も夜の光に誘われて大賑わい。恒例の夏の虫まつり。(30名)

9月8日 .....

### 生糸のランプシェードを作ってみよう★

繭を茹でて糸を引きだし、膨らませた風船に巻き付けていきます。乾燥すると生糸が固まるので、風船をしぼませるとシェードが出来ます。中にLEDの小さなランプを入れると美しい行灯に！(15名)

9月13日.....

**周辺の植物しらべと森の声を聴くⅢ**

夏の終わり、森の豊かな世界を体感しました。  
(15名)

11月25日.....

**山に人にありがとう会**

穏やかな晩秋の一日、焚火をしながら焼き芋を楽しみました。(20名)

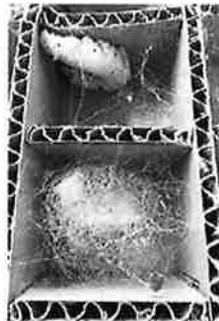
10月1日～11月30日.....

**「10年ののち展」開催 (別記)**

★は平成30年度地域発元気づくり支援金事業の支援を受けています。



風穴ハイキング 2018.5.26



繭になるカイコ  
2018.6.22



文化会館ハチ講座 2018.7.15



幼稚園遠足 2018.9.13



幼稚園遠足 2018.9.13



ハチ講座のコンサート  
2018.7.15



夜間観察会  
少年とオオミズアオ  
2018.8.11



夜間観察会 2018.8.11



クロメンガタスズメ  
2018.10  
長和町採取

## 特別企画「10年ののち」展開催 (平成30年10.1～11.30)

マダラヤンマ保護研究会活動から10年、自然に親しむ会の当館周辺植物調査から10年、千曲川水系の水生昆虫を研究された広瀬幸雄先生ご逝去から10年ということで、当館にゆかりのあった皆さまの地道な仕事のご紹介、資料やパネル・写真展示などをしました。10月4日には、「10年ののち」イベントで、マダラヤンマ研究会会長早川慶寿氏、自然に親しむ会の笠原知子氏・矢島千代子氏、広瀬幸雄先生の息子さんご夫妻にお話しを聴かせていただきました。自然界に目を向け、地道な活動を継続されてこれ

た皆さまのことを、残されたデータのみならず僅かでもご紹介できたなら嬉しいことです。

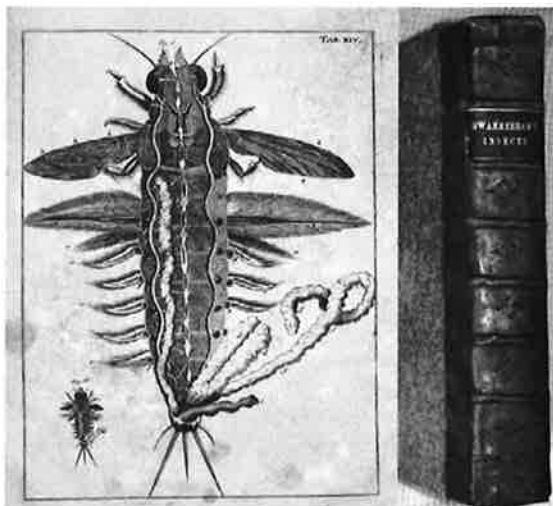
同時に収蔵品特別公開で、オランダのスワンメルダム (1637～1680) の大型英訳本「book of nature」(1758)、寺島良安 (1654～不詳) による日本初の図入り百科事典和綴じ「和漢三才図会」2冊を展示しました。オランダライデンと日本、ほぼ同時代の研究は興味深く、繊細な銅版画による虫などの解剖図英訳本と、和紙に墨筆で書かれた木版による図鑑を見比べて頂けます。



広瀬幸雄氏資料展示



マダラヤンマ研究会展示



スワンメルダム「book of nature」



寺島良安「和漢三才図会」

## 本年の企画・スケジュール

令和元年(2019)4月20日 春のオープン 小川原辰雄展(～11.30)

同時開催・当館サポーターズ倶楽部追悼写真展

オープンセレモニー：お話し 茅野實さん・野平昭子さん・唄 小林千穂子さん

茅野實さんは、開館当初から蝶仲間としてご来館頂いておりました。日本昆虫協会会長・県環境保全協会顧問。野平昭子さんは小川原先生の3年後輩(横浜医科大学)で、野蚕学会会員でもあります。外国の蝶の美しい標本を寄贈され、先輩小川原先生との出会いについてお話しされました。当館に野平昭子先生コーナーが出来ております。蝶を配した着物のデザインもされており、お召しになってご来館くださいました。お話し後は、ジャズボーカリスト小林千穂子さんの深い歌声に皆で耳を澄ましました。16年目の春のオープンと、先生の追悼のために多くの皆さまのご参加を戴きました。心より感謝申し上げます。

5月26日(日).....

### 恒例「風穴ハイキング」

子楨嶺岳中腹の風穴は、間口8.1m、奥行き17.1m、高さ4、5mの石積み造り。県下でも最大規模かもしれませんが。毎年爽やかな緑の中を自然観察しながらゆっくり歩く訳ですが、たくさんの発見があり遊び学お愉しい場を共有しています。(大人500円 中学生以下100円)

6月.....

### 春蚕の飼育

5.20に孵化し始めた蚕が7月初旬にはすべて繭になりました。

7月14日(日).....

森林浴と座繰体験会 9時～15時 館集合

協力：村おこし協力隊 野中海雄さん(森林セラピスト)と森を歩き、葉の香り、鳥のさえずり、苔の感触など森林の持つ力を五感でとらえてリフレッシュします。お昼は昆虫館でお弁当を広げます。

12時～繭を茹で、座繰りの体験を楽しみます。(大人500円 中学生以下100円)

8月10日(土).....

### 夏休み特別講座

(昆虫採集と標本教室★夜間観察会)

1部：14時～昆虫採集と標本教室

安達誠文さん(20代の昆虫愛好家)と歩いて虫の勉強をしながら、標本を作ってみましょう。

(大人500円 中学生以下100円)

2部：日没～恒例「夜間昆虫観察会」

今年も鱗翅学会の田下昌志さん・福本匡志さん・安達誠文さんらがライトトラップに集まる虫たちを教えてください。(大人500円 中学生以下100円)：詳細等ご連絡下さい。

9月7日(土).....

### 昆虫採集と標本教室★夜間昆虫観察会

上記と同様のスケジュールです。

11月30日(土).....

### 恒例「山に人にありがとう会」

周辺の枯草・枯草を燃やして焼芋を楽しみ、1年の感謝と共に閉館します。

(大人500円 中学生以下100円)

## 編集後記

時計は刻々と時をきざみ、どんな人も確かにあちら側へ旅立っていきます。

「自分の最期の本になる」と希望されていたハチの本も無事入稿したことで、ほっとされていた先生の顔が浮かびます。青木村で唯一のお医者様として立ち続けられた半生の最期16年は、信州昆虫資料館代表として、及び平

成28年4月からは青木村信州昆虫資料館名誉館長としても活躍されました。小川原先生に代わり、長年のご声援に心より感謝申し上げます。

拙い歩みで継続して参りました当館ですが、今後多くの皆さまにとって拠り所になるような場所として活かしていただければ幸いです。 信州昆虫資料館



小川原先生と夜間昆虫観察会 2015. 8. 8

---

発行 信州昆虫資料館 2019.8

〒 386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢 1875-6

TEL 0268-37-3988 FAX 0268-37-3964

E-mail:kontyu-s@helen.ocn.ne.jp

印刷 中澤印刷株式会社